

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： 佐藤 佑花

使用教科書：（大修館 Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、関連する技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・人の一生について、ライフステージ全体を見通し、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・よりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・生涯の生活設計 ・家族・家庭の機能 ・家族・家庭の法律 ・家族・家庭と社会	【知識及び技能】 ・青年期の発達課題や5つの自立、家族にかかわる様々な名称と内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者との価値観の違いに気づいたり、自立しなければいけないことを整理したりして考察することができる。 ・家族類型や世帯の変化を理解し、その理由について根拠をもとに説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立を達成するために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。 ・家族・家庭のよりよい生活のために課題の解決に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供を生み、育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子供への適切なかかわり方を考えたり、保育について考え、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ・乳幼児の心身の発達 ・乳幼児期の生活 ・親の役割と保育 ・子供を取り巻く社会環境	【知識及び技能】 ・子供の健全な発達を支援するために必要な基礎的・基本的な知識・技術身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親や保育者として必要なかかわりを考え、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乳幼児の心身の発達や特徴に興味・関心をもち、どのように子供とかかわるか考え、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家庭や地域及び社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的に取り組む。	・指導事項 ・高齢期の心身の特徴 ・高齢者を取り巻く社会環境 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護	【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者がどのような生活を送っているかについて課題の発見と解決に向け考察し、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	2
2 学 期	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を通し、生活課題を自分で見つけ、解決し、生活を創造できる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の生活を振り返り、課題の発見と解決に向け考察し、計画に従って実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題解決をめざして、主体的に取り組む。	・指導事項 ・身近な生活問題の解決をめざそう	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトについて理解し、よりよい生活に向けて必要な情報を収集・整理することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の生活課題を見だし、課題解決をめざして具体的に考え、実践することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に計画を立てて取り組むことができる。	○	○	○	2
	【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会のかかわり、家計管理について理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についてライフステージや社会保障制度などに関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立について考え、学習に主体的に取り組む。	・指導事項 ・生活を営むためのお金 ・18歳で変わる消費生活 ・消費者トラブル ・経済の仕組み ・キャッシュレス社会 ・「お金を借りる」ということ ・家を借りる計画を立ててみよう	【知識及び技能】 ・経済的自立の意味や生活に必要な支出と生活資金について理解している。 ・生活における経済と社会とのかかわりについて理解を深め、消費生活の現状と課題について情報の収集・整理が適切にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来送りたい生活をイメージし、実現するための方法について、実際の生活に即して具体的に考えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活をめざそうとする意欲がある。	○	○	○	8

	【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料や被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい衣生活に向けて考え、主体的に取り組む。	・指導事項 ・人と被服のかかわり ・快適な被服の条件 ・被服材料・構成 ・被服実習	【知識及び技能】 ・被服材料や管理について科学的に理解し、健康で快適な衣生活を送るための基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身が衣生活を営む主体であることを意識し、幅広い視点から衣生活を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの力で衣生活をマネジメントできるよう考え、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
3 学 期	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「食べる」ことの意義や重要性について考えとともに、健康や環境に配慮した食生活について考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の食生活について振り返り、よりよい食生活に向けて主体的に取り組む。	・指導事項 ・食事の役割と食生活 ・食品の栄養的特徴 ・食品の調理上の性質 ・食品衛生 ・調理実習	【知識及び技能】 ・一生を過ごす体をつくるために食事の重要性について理解し、食生活や調理に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活について振り返り、社会的状況などに関連させながら課題の発見と解決に向けて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の重要性を認識し、よりよい食生活を送るために自分の食習慣に向き合い、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	12
							合計 54